

つるりんと楽しく体操

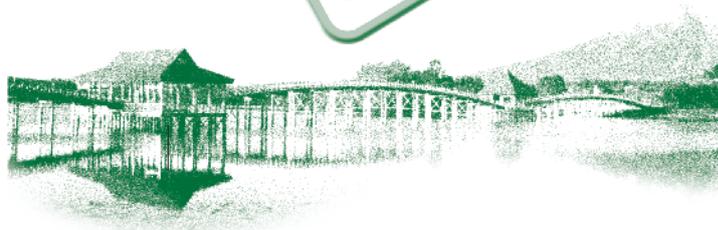
菖蒲川小学校では、昨年度から健康増進、体を動かすことに親しみをもってもらうことを目的に、全校でつるりん体操に取り組んでいます。3月22日（金）には、菖蒲川小学校につるりんが訪れ、1～5年生の児童30人が参加し、つるりと一緒につるりん体操をしました。

当日、つるりん体操に参加した子どもたちは、大きな声を出しながら元気に取り組んでおり、体操終了後にはつるりんからグッズが手渡されました。

1年生の福士紗羽さんは「音楽の時間などに練習したおかげで上手に体操できました。つるりと体操ができて楽しかったです」と笑顔で話していました。



△つるりん体操で楽しく体を動かした菖蒲川小学校の子どもたち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

町内会で桜の剪定と空き缶拾い

3月31日（日）、間山地区農村公園の桜（ヤエザクラ、ソメイヨシノ）の剪定や、周辺の道路の空き缶拾いを間山町内会（成田豊昭会長）が行い、約80人が参加しました。当日は、合計15本の桜を剪定し、空き缶拾いでは、町指定のごみ袋10袋分の空き缶などのごみを拾いました。

間山町内会では、昨年7月に弘前市公園緑地課チーム桜守の職員に剪定などに関する指導を依頼しており、昨年学んだことを生かしながら剪定に取り組んでいました。

成田会長は「間山の桜をもっと綺麗にできればと思っています。先輩が植えた桜を保護して次の世代まで残したいです」と話していました。



△雪が積もり寒い中、剪定に励んでいました

火災予防の決意新たに

今年の春の火災予防運動は、4月8日（月）から7日間の日程で実施され、最終日の14日（日）には、鶴田町消防団（下山正彦団長）が広報パレードを実施しました。

パレードでは、査察者である相川町長や下山団長らが、8台の消防車両で町内15ヶ所の屯所を巡回しました。各屯所では、団員の出勤状況の報告、服装や姿勢などの確認を行い、団員らは器具の点検などを素早く行いました。

相川町長は、「各分団で火災予防の喚起をしていただき、感謝申し上げます。昨年11月から無火災が続いているので、パレードで町民の皆さんに注意を呼び掛けていきたい」と話していました。



△人員服装点検後は、消防団員による放水訓練が



△子どもたちが運転手に交通安全を呼び掛ける

交通安全を呼び掛ける

4月12日（金）、鶴田交通安全協議会六郷支部（須郷耕二支部長）が交通安全街頭活動を行いました。約20人の参加者らは交通事故が発生しやすい交差点で、交通安全を呼び掛けました。

子どもたちは、運転手に直接「安全運転、お願いします」と呼び掛けながら、チラシとティッシュを手渡していました。

また、4月16日（火）には交通事故ゼロ継続5年達成に係る知事表彰が県庁で行われ、表彰状を受け取った成田副町長は「来年は小学校1校に統合するので、これまでと違った運動を考えていき、各人が交通安全を心掛けてもらえるようにしたい」と話していました。

環境を守る大切さを学ぶ

4月20日（土）、「自分からはじめよう地球を守る」と題して、地球環境について理解を深めるイベント「アースデイ2019鶴田」が国際交流会館で開催され、町子どもたち41人が参加しました。

イベントでは、国際交流員のアンナ・クマシロさん、マックスウェル・トタロさんとペットボトルやトレットペーパーの芯などを使って弓矢や水やり不要のプランターを作り、普段何気なく捨てているごみの再利用について学んでいました。

参加した子どもたちは、「身の回りの不要品を再利用した工作を家でも作ってみたい」「地球を大切にしたい」と話していました。



△アースデイに参加してくれた子どもたちとつるりん